

# 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月25日  
札幌市立中央中学校

## 1. 今年度の重点目標

決して誰一人取り残さず、すべての子どもたちの可能性を引き出す学校  
～安心して互いの思いを共有できる学校+教育の視点で何でも意見交換できるワイワイガヤガヤした学校～

## 2. 今年度の経営方針

「自ら考え、判断し、行動することができる力」の育成  
「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり  
チームとしての学校 ～ チーム中央 ～

## 3. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分 野		目指す子ども像
重点項目		自ら考え、判断し、行動し、自らの成長を実感できる生徒の育成
評価項目		自己の成長(伸び)の実感と、未知なことへの挑戦意欲
自己評価	達成状況	【A】 生徒アンケートで「自分の伸びを実感している」が後期で 82.8%に上昇し、「意欲的に挑戦している」も 82.3%と高水準を維持しています。保護者評価での「伸び実感」も前年比+15.6pt と大きく向上しており、自己の成長に向かう姿勢が着実に育まれています。
	改善方策	AAR サイクルの「R(リフレクション)」が機能している成果を生かし、次年度は更に「分からないことをそのままにしない(自己調整学習)」の意識を高め、より自律的に学ぶ姿勢の育成を図ります。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A
学校関係者評価委員会による御意見		「自分の伸びの実感」が 80%を超える高水準にあることは、学校全体で生徒の「自立」を促す指導が機能している素晴らしい成果です。 我々としては、この基盤の上に立ち、次年度は「自立(他者に頼らず行動すること)」と「自律(自らの規範や目標に従って自己を統制すること)」の違いを明確に意識した教育活動を期待します。AAR サイクルの Reflection を通じた「自己調整学習」は、まさに生徒のメタ認知能力を高め、「自律的な学習者」へと導く鍵となります。失敗や挫折を恐れず、自ら軌道修正できる逞しい生徒の育成に向け、引き続きの手厚いサポートをお願いいたします。

分野	人間尊重の教育	
重点項目	「自分が大切にされている」と実感できる安心・安全な学習環境・集団づくり	
評価項目	笑顔で学校生活を送る生徒の割合、および生活規範の定着度	
自己評価	達成状況	【A】 「笑顔で学校生活を送っている」が89.0%(生徒)、92.5%(保護者)と極めて高く、安心感の土台形成に大きな成果が見られました。また、情報モラル(89%)やマナー遵守(88%)などの規範意識も安定して定着しています。
	改善方策	形成された心理的安全性の高い教育環境を基盤とし、次年度は「ダイバーシティ&インクルージョン」の視点で、多様性を活かし、すべての生徒が最大限に自己の能力を発揮できる教育課程を推進します。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

分野	「学ぶ力」の育成	
重点項目	AAR サイクルを意識した授業実践と「自ら学ぶ方法」の定着	
評価項目	「自ら学ぶ方法」の定着度、主体的発信力、読書習慣の定着	
自己評価	達成状況	【B】 保護者の「学び方が身に付いている」との評価が 81.4%(前年比+12.3pt)と大幅に向上しました。一方で、分析報告が示す通り、「主体的発信(自分の意見を進んで伝える)」の低下傾向や、読書習慣の改善幅が小さい点(保護者 46.8%)に課題が残る結果となりました。
	改善方策	ICT 活用を「操作・活用段階」から「自己調整・探究深化段階」へと進化させます。生成 AI 等を活用した思考整理や多面的検討の支援を取り入れ、生徒が自分の考えに自信をもって表現・探究できる授業へと改善を図ります。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

分野	「豊かな心」の育成	
重点項目	互いを尊重し、支え合う態度の育成と「さっぽろっ子自治的な活動」の推進	
評価項目	自他の良さを認める姿勢と、他者貢献(人の役に立つ喜び)の体感	
自己評価	達成状況	【A】 生徒の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」が 90.6%と高く、他者を思いやる心が豊かに育まれています。周囲と協働する「チーム中央」(87.0%)への高い評価からも、良好で温かい関係性が伺えます。
	改善方策	次年度は「さっぽろっ子自治的な活動」を一層推進し、「自分たちの意思を実現する」「自分たちの問題を自分たちで解決する」社会に生きて働く『本物の経験』を生み出す場を意図的に設定し、他者と協働しながら合意形成を図る力を育成します。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

分野	「健やかな体」の育成	
重点項目	健やかな体育成プログラムの実施と、日常的な運動機会の創出	
評価項目	健康教育・食育の充実度と、運動をしたくなる環境づくり	
自己評価	達成状況	【B】 学校生活への高い満足度が示す通り、心身ともに安定して過ごす基盤は整っています。健康や食に関する指導も計画的に進められましたが、生徒が自発的に運動に親しむ習慣の定着に向けては、さらなる環境整備の余地があります。
	改善方策	「中央中学校健やかな体育成プログラム」を改訂し、体育常任委員が中心となった活動等を実施します。また、地域と協力しながら、生徒が日常的に運動をしたくなる「三間(仲間・時間・空間)」を校内外に創出します。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

分野	いじめ対策	
重点項目	いじめの未然防止と、生徒主体の防止意識の醸成	
評価項目	生徒がいじめ問題を自分ごととして捉え、主体的に防ぐ意識	
自己評価	達成状況	【B】 学校全体としての安心感が高いものの、分析報告において「いじめ防止項目(主体的に防ぐ意識)は微減(-0.4%)で横ばい」と指摘されており、生徒一人ひとりの当事者意識の向上に課題が見られます。
	改善方策	教員による指導に留まらず、「さっぽろっ子自治的な活動」を未然防止の核に据えます。人間尊重の理念のもと、生徒自身がいじめ問題を「自分ごと」として捉え、多様性を認めるより良い集団づくりに主体的に取り組む機運を高めます。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

分野	一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	
重点項目	コミュニティ・スクール(CS)に向けた小中一貫教育の推進	
評価項目	校種間の連携と、9年間の学びの連続性の構築	
自己評価	達成状況	【B】 「チーム中央」としての協働基盤は本年度の取り組みで大きく前進しました(保護者の外部連携に対する評価 76.6%、前年比+8.3pt)。今後はこの人的ネットワークを、具体的な教育課程へと落とし込む段階にあります。
	改善方策	ICTの有機的な活用、不登校支援、学習支援、総合的な学習の時間を柱として校種間の連携を深め、9年間の学びの連続性を具体化したグランドデザインの策定を進めます。
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A

学校関係者評価委員会による御意見	<p>ICT 活用を自己調整段階へ引き上げるという次年度の改善策は、生徒の自律的な学びを促すものとして大いに期待が持てます。</p> <p>他方で、「読書習慣の改善幅が小さい」という自己評価については、単に生徒の意識の問題とするのではなく、生徒を取り巻く環境を踏まえた分析が必要です。生徒たちは学校の課題や塾、習い事、部活動で極めて多忙であり、スマホなどの誘惑や、日常的に家族が本を読んでいるかという家庭環境によっても読書のハードルは大きく変わります。まずはアンケート等を通じて三者(生徒・保護者・教員)の読書に対する認識のズレや実態を把握し直し、無理なく読書に親しめる現実的なアプローチを再構築していただくよう要望いたします。</p>
------------------	--

分野	チームとしての学校 ～チーム中央～の深化	
重点項目	家庭や地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクールの理念の重視)	
評価項目	外部人材の活用と、保護者・地域との連携・協働体制の構築	
自己評価	達成状況	<p>【A】</p> <p>外部人材や関係機関との連携に対する評価が、生徒(87.0%)、保護者(76.6)ともに高く、本年度の重点方針3として明確な成果を上げました。連携体制の基盤が強固に構築された1年となりました。</p>
	改善方策	<p>これまでの「参画・協力」から「協働」へとステップアップを図ります。学校 HP 等での積極的な情報発信や来校機会の増加により、地域の方々と対話し、学習や運動の「三間」を地域全体で創出するなど、生徒をともに育てる意識を高めていきます。</p>
学校関係者評価	自己評価の適切さ	A
	改善策の適切さ	A
学校関係者評価委員会による御意見	<p>外部人材や関係機関との連携において、生徒と保護者の双方から高い評価が得られ、「チーム中央」としての強固な基盤が築かれたことをたいへん嬉しく思います。日頃、私たち地域住民は、登下校の際に見かける生徒たちの生き生きとした「笑顔」や爽やかな姿に、たくさんのパワーと喜びをもらっています。この自然な笑顔こそが、学校と家庭、地域が一体となって生徒を温かく見守り、健やかな成長を支えている何よりの成果であると感じています。</p> <p>次年度の改善方策にある「参画・協力から『協働』へのステップアップ」や、地域全体で生徒を育てる「三間」の創出という方向性に大いに賛同いたします。生徒たちのあの素晴らしい笑顔がこれからも街に溢れ続けるよう、我々も「チーム中央」の一員として、引き続きできる限りの応援と伴走をしていきます。</p>	